

県P連だより

広島県PTA連合会

陽だまり

No.40

会長あつち



広島県PTA連合会
会長
平田誠治

平素より、PTA活動へのご理解とご協力をたまわり、厚くお礼申しあげます。

この度、広島県PTA連合会総会において、平成25年度の会長を拝命しました、平田誠治と申します。

皆さま方には、ご多用のところ総会並びに研修会・交流会へ多数ご参加頂き、誠にありがとうございます。

さて、総会でもお話ししましたように、本年度の活動スローガンは、「見つけよう今を、語り合おう未来を、深めよう親子の絆を」～未来ある子どもたちのために～とし、未来を担う子どもたちが幸せに暮らすことができる環境をつくるために基本方針や活動目標を定めました。

こうした目標を達成するには、各会

員一人一人の努力はもちろんのことですが、個人の垣根をとりはらい保護者や教職員が中心となつて、学校・家庭・地域や行政のそれぞれの分野が連携しながら、活動の輪を拡げていかなければなりません。その要を担うのがPTAといえます。

例えば個人としては、PTA会員として、地域住民の一人として、自らが地域行事に積極的に参加するなど、地域との関わりを大切にするとともに、保護者としての自覚を高め、子どもとともに成長し、家庭教育の充実に努めなければなりません。

また、広島県PTA連合会組織としては、子どもたちの健やかな成長をサポートするために、各単位PTAをはじめ、各郡市P連との連携をより一層深め、情報収集・啓発活動や各種研修活動・教育環境の整備などに努めなければなりません。

さらには、社会教育や家庭教育等の充実・進行をめざす関係諸団体との協力体制をより強固なものにする活動も必要となります。

これからも広島県PTA連合会に対し、なお一層のご指導・ご支援を賜りますようお願いいたします。会長就任のご挨拶とさせていただきます。

平成25年度事業計画

〈スローガン〉

「見つけよう今を、語り合おう未来を、深めよう親子の絆を」
～未来ある子どもたちのために～

基本方針

- ・ 足元を見つめ、未来に向かって親として今何ができるかを考えよう。
- ・ 明るい未来を想像し、笑顔で語り合える家庭を作ろう。
- ・ 親子の絆を大切にし、信じあえる家族の構築に努めよう。

活動目標

- ・ 各種研修会を通して保護者としての責任感や規範意識の向上に努める。
- ・ 県内様々なPTA活動の紹介を通して、PTA活動の充実・活性化に努める。
- ・ 各種団体との連携を図り、いじめの問題や子どもの安全、教育環境の整備など、子どもをとりまく問題の解決に努める。
- ・ 各種研修会で得た知識を家族にも伝え、共通の認識を持つ場を醸成する。

主な事業

- 第61回日本PTA全国研究大会みえ大会 (三重県8/23～24)
- 第42回広島県PTA研究大会えたじま大会 講演講師 山下明生氏 (広島市10/6)
- 第43回中国ブロックPTA研究大会広島市大会 記念講演 大棟耕介氏 (広島市11/9)
- 全小・中学校PTA母親代表研修会 (広島市12/7)

平成25年度 定例総会

5月31日（金）、広島ガーデンパレスにおいて、平成25年度広島県PTA連合会定例総会が開催されました。平成24年度事業報告並びに決算、平成25年度事業計画並びに予算、そして、新会長として平田誠治さん他、新役員が承認され、25年度の活動がスタートしました。

全小・中学校PTA会長研修会 報告

平成15年10月、PTA活動における課題や問題点を明確にし、スムーズな組織運営を図ることを目的にはじめた本研修会は、昨年で10年が経過しました。本年度から、少人数で意見交換ができる分科会を設け、参画型の研修会として新たなスタートをしました。



5月31日、広島大学大学院教育学研究科 教授 林 孝氏をお招きし、『家庭の教育力向上を目指す学校・地域と連携したPTA活動とは』子どもとのかかわりをおしてと題して講演をいただきました。

講演をおして多くのことを学び、今後のPTA活動のヒントをいただきました。また、家庭や地域の絆が希薄になりつつある現代社会において、PTA活動の重要性を再認識することができました。特に、『親はPTA活動をとおして成長していく絶好の

切にし、私たち保護者一人一人ができる時にできる事をするという意識でPTA活動に携わり、学校・家庭・地域と連携を図りながら、活き活きと心の繋がりを深めていってほしいと思います。私たち保護者も子どもたちと共に成長し、連携を深めるPTA活動への参加を呼びかけ、大きな輪で繋がっているPTAを目指していただきたいと思っています。

今後、益々の県P連のご発展を心よりお祈り申し上げます。
（広島県P連 平成24年度副会長 上田 隆政）

機会と捉え、学校、親、地域が一体となつてよりよい学校づくり邁進しなければならぬこと。また、すべての子どもが自立し、豊かな人生を送ることができるよう家庭・学校と地域が深く「関わる」ことにより、「分かる」し、「分り合える」ことよって「変わる」ことなど、多くの参加者が講演内容に共感し、PTA会長（役員）としての姿勢を学ぶことができました。



講演会風景

10分科会に分かれて グループディスカッション

昨年度、情報交換できる場を設けてほしいとの要望を受け、本年度は研修時間を長くして、少人数で意見交換ができるよう分科会を設けました。

分科会では、会長さん方のPTAにおける活動状況や悩みなどの情報交換をおして、会長（役員）としての思いを共感することができました。

参加しても聞き手になる受け承り型の研修が多い中、ひざをつき合わせての研修は、全員が主役の参加型・交流型の有意義な分科会となりました。

（広島県P連 前理事 小林幸男 副会長 山田睦浩）



分科会風景

アンケート集約

成果
参加者全員が発言する場を設けたことで、PTA活動において各々が抱える課題や問題点を共有し明確にすることができた。

また、自らが学び、郡市並びに単位PTAの活動に活かそうとする前向きな姿勢を見ることができた。これは、参加者のPTA活動歴や社会性も反映した意見も認められたこともあり、今まで受け身だった研修会のスタイルが改善されたことを表している。

講演内容に共感し、PTA会長としての姿勢を学ぶことができたという意見が多かった。

広島県PTA連合会の意識も研修会をこなすだけの姿勢から、会員全体で共に取り組む（場所設定）そして育む（グループ討議）実践（PTA活動に活かす）への姿勢に変化しているといえる。

課題

来年度のテーマについては、以前は学校教育についての希望が多かったが、家庭教育の要望が増えてきている。これは、学校だけでなく、家庭に問題があることの自覚かもしれない。

また、少子高齢化により家庭・学校が地域とさらに密接な連携をしなければならぬ。

（広島県P連 増原和子教育研修委員長）

お知らせ

平成26年度の定例総会、全小・中学校PTA会長研修会は…

開催日 平成26年6月5日（木）
場所 広島ガーデンパレス（広島市東区光明一丁目15番）

どう変わる 日本PTA! 広島県P連!!

日本PTAは、平成25年4月1日から公益社団法人日本PTA全国協議会として新たにスタートしました。これに伴い日本PTAの武田会長は、ホームページにおいて次のような決意を述べておられます。

- 自らを精査し、時代にあった組織づくりや事業の質の向上をはかる。
- 国や他の教育団体から集まる有益な情報を、全国のPTAに発信し、PTA全体の活性化をはかる。

広島県P連としては

日本PTAの事業展開に学び、社会教育関係団体として社会に貢献する活動やPTAの根幹は単位PTAの存在と活動という考え方を大切にしていきます。

同時に、時代の変化に対応した「PTA活動や組織・委員会のあり方」や「会則・規則」「ニーズに対応した事業のあり方」などを見直し、組織としての責任を果たすための運営と活動を行ってまいります。

そのため、他県の取り組みも参考にしながら、今一度、PTA活動の原点に戻ってみます。

目的

教育を本旨とする民主団体であり、県内各PTAの連絡機関としての性格を堅持し、自主独立で他のいかなる団体・機関の支配や統制、干渉も受けない。子どもの健全育成を願い、学校教育の理解を深め、支援し、活動の充実と向上を目指して他の団体機関と協力、連絡して活動する。会は非営利的・非宗教的・非政党的であること。

なお、成人教育の場でもありPTAへの在籍期間を有効に活用し、自己の資質、家庭教育の向上を図ることを目的とする。

特徴

任期は児童生徒の在籍期間のみである。組織の基本は単位PTAであり、1つの学校に通う教職員とその学校の児童生徒の保護者である。

会員

単位PTAに児童生徒として在籍するものの保護者と教職員である。

PTAの正会員の「保護者」とは「児童生徒の保護者」であり、それはある期間であり、全ての大人ではないこと、永続的でもないことを理解することが大切である。

広島県PTA連合会の会員は、PTAの目的に沿ってPTAに在籍している期間をもっとも有効に活用し、子どもの成長と共に健全育成を願い、学校教育を理解・支援し、向上を目指し、自身の資質と家庭教育の向上を図ることが大切である。

(広島県P連会長 平田誠治)

平成25年度 広島県PTA連合会 新体制始動

「会員一人一人、個人としても組織としても全力を尽くす」と語る平田会長（左から）、増原副会長、山田副会長ほか、新理事・監事の方々



役職名	名前	所属都市P	所属学校	委員会
会長	平田 誠治	福山市	大成館	教育研修委員会
副会長	増原 和子	呉市	横路	委員長
副会長	渡辺 敏	三原市	第三	副委員長
副会長	山田 睦浩	世羅郡	甲山	委員長
副会長	赤木 俊二	神石郡	油木	副委員長
会計	大場由美子	東広島市	中央	教育研修委員会
母親代表	向井 恵美	廿日市市	平良	副委員長
理事	小川 剛司	大竹市	大竹	広報委員
理事	鷹谷 直至	江田島市	江田島	教育研修委員
理事	有田 志穂	豊田・竹原	吉名	広報委員
理事	世木田 優	安芸郡	熊野	総務委員
理事	中森 幸恵	東広島市	八本松	総務委員
理事	岩下 雅俊	安芸高田市	根野	総務委員
理事	庄野 知子	山県郡	戸河内	広報委員
理事	木曾 奈美	尾道市	久保	教育研修委員
理事	村上 正人	福山市	箕島	総務委員
理事	川崎弥生子	府中市	府中明郷	教育研修委員
理事	正木みどり	庄原市	高野	広報委員
理事	吉岡 照美	三次市	布野	教育研修委員
監事	柚原 弘明	呉市	白岳	教育研修委員
監事	佐藤 雄一	福山市	泉	教育研修委員
監事	武本 信秋	山県郡	殿貴	教育研修委員

